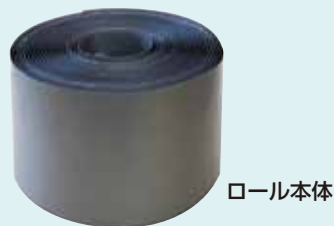


タイカブラック® ロール

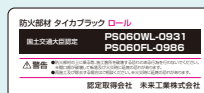
- 冷凍倉庫・低温設備の大口径配管の区画貫通防火処理に最適です。
- 配管に巻きつけて使用するロールタイプの防火部材です。
- 配管のサイズに合わせ、好きな長さに切ってご使用いただけます。
- 管に巻きつけてバインド線で固定するだけの簡単施工です。
- クルクル引き出すことが可能な段ボールケース入りで保管にも便利です。



ロール本体



バインド線
(30m 巻)



認定シール 16 枚付

ロールを
クルクル引き出す
ことが可能な
段ボールケース入



■ロール使用量参考表

保温材外径(mm)	切断寸法(mm)	貫通箇所数/箱
φ100	335	15.5
φ125	413	12.5
φ150	492	10.5
φ175	570	9
φ200	649	7.5
φ225	727	7
φ250	806	6
φ275	884	5.5
φ300	963	5
φ325	1042	4.5

※切断寸法は(保温材の外径+20mm)で算出しております。

品 番	適 合	巾(mm)	厚さ(mm)	長さ	入数	標準価格
MTKB-RF10	アーマフレックス エアロフレックス 等	155	3.5	10m巻	1	オープン価格

未来工業

検索

ミライのホームページもご覧ください。新着情報等、お役立ち情報満載です。
http://www.mirai.co.jp/ Eメール mirai@mirai.co.jp

インターネットで「未来工業」と検索してください。



未来工業株式会社

JIS 認証取得

本 社：岐阜県安八郡輪之内町橋保1695-1 〒503-0201 TEL (0584) 68-0028(代) FAX (0584) 69-5602
支 店：仙 台：TEL (022) 367-8250(代) FAX (022) 367-8232 新 潟：TEL (025) 269-0269(代) FAX (025) 269-0234
東 京：TEL (03) 3242-7871(代) FAX (03) 3242-7874 名古屋：TEL (052) 957-2733(代) FAX (052) 957-2764
大 阪：TEL (06) 6765-4810(代) FAX (06) 6765-4814 中西：TEL (087) 882-2040(代) FAX (087) 882-2023
福岡：TEL (092) 937-2216(代) FAX (092) 937-2223
営業所：札幌：TEL (011) 663-3233(代) FAX (011) 663-3288 旭 川：TEL (0166) 21-8848(代) FAX (0166) 26-6673
盛 岡：TEL (019) 637-7097(代) FAX (019) 637-7099 仙 台：TEL (022) 367-8250(代) FAX (022) 367-8232
郡 山：TEL (024) 991-8898(代) FAX (024) 991-8897 新 潟：TEL (025) 269-0269(代) FAX (025) 269-0234
松 本：TEL (0263) 97-3141(代) FAX (0263) 97-3142 北 陸：TEL (076) 292-3611(代) FAX (076) 292-2151
水 戸：TEL (0295) 52-2155(代) FAX (0295) 53-0087 さいたま：TEL (048) 652-9221(代) FAX (048) 666-9344
東 京：TEL (03) 3242-7871(代) FAX (03) 3242-7874 千 葉：TEL (043) 227-1605(代) FAX (043) 227-3358
横 浜：TEL (045) 313-5591(代) FAX (045) 313-5622 静 岡：TEL (054) 236-1505(代) FAX (054) 236-1506
名古屋：TEL (052) 957-2733(代) FAX (052) 957-2764 大 垣：TEL (0584) 68-0002(代) FAX (0584) 69-3900
大 阪：TEL (06) 6765-4810(代) FAX (06) 6765-4814 神 戸：TEL (078) 574-0468(代) FAX (078) 574-0556
高 松：TEL (087) 882-2040(代) FAX (087) 882-2023 松 山：TEL (089) 921-2905(代) FAX (089) 921-9904
広 島：TEL (082) 545-9280(代) FAX (082) 545-9283 福 岡：TEL (092) 937-2215(代) FAX (092) 937-2223
大 分：TEL (097) 586-5545(代) FAX (097) 586-5546 長 崎：TEL (0957) 43-0575(代) FAX (0957) 43-6730
熊 本：TEL (0968) 38-5622(代) FAX (0968) 38-2963 鹿児島：TEL (099) 250-6311(代) FAX (099) 284-1326
沖 縄：TEL (098) 894-6481(代) FAX (098) 894-6482

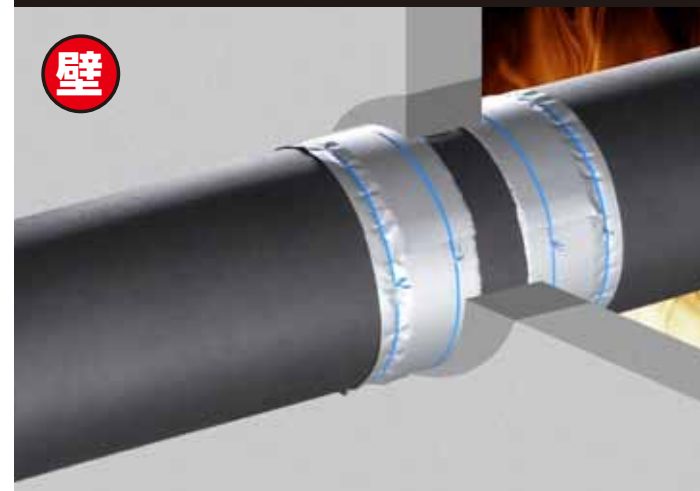
工 場：札幌、山 形、茨城第1、茨城第2、茨城第3、大 垣、垂 井、熊本第1、熊本第2

業界初

冷凍倉庫・低温設備の大口径配管の
区画貫通防火処理に最適！

防火部材
タイカブラック® **ロール**

壁



床



ロール工法

国土交通大臣認定	貫通する 壁・床の構造	ニトリルゴム系フォーム		エチレンプロピレンゴム系フォーム		ロックウール・グラスウール	
		鋼管 φ66.67 呼び2・1/2以下	鋼管、SUS管 φ165.2 呼び150以下	鋼管 φ66.67 呼び2・1/2以下	鋼管、SUS管 φ165.2 呼び150以下	鋼管 φ66.67 呼び2・1/2以下	鋼管、SUS管 φ165.2 呼び150以下
PS060WL-0931	壁 100mm厚以上	75mm以下 (最大φ217mm以下)	80mm以下 (最大φ328mm以下)	75mm以下 (最大φ217mm以下)	75mm以下 (最大φ318mm以下)	80mm以下 (最大φ227mm以下)	80mm以下 (最大φ328mm以下)
PS060FL-0986	床 100mm厚以上	82mm以下 (最大φ231mm以下)		—			

※このカタログは、H31年3月現在のものです。尚、掲載しております商品の価格には、消費税は含まれておりません。ご購入の際には、消費税が附加されます。(当カタログからの無断転載はかたくお断りします。)

※沖縄及び離島価格は、別途お問い合わせください。

◀ 詳細は中面をご覧ください。



未来工業株式会社

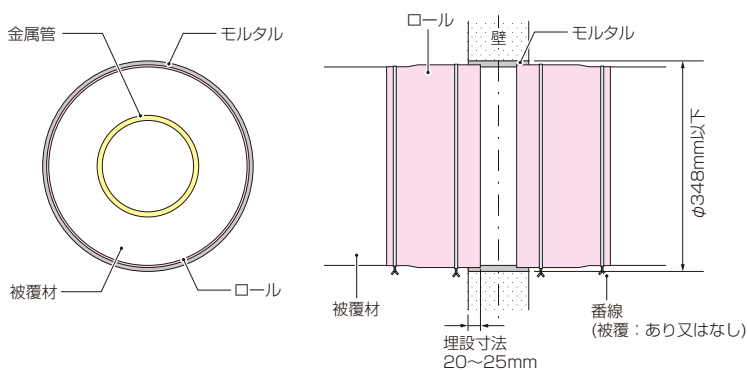
認定条件（抜粋）

●国土交通大臣認定

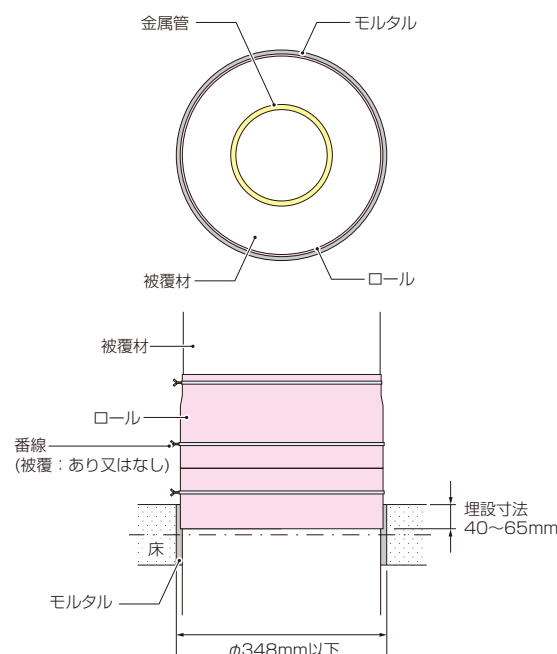
構 造		壁 (PS060WL-0931)	床 (PS060FL-0986)
開 口 部		円形：φ348mm以下	
占 積 率		88.9%以下	
貫通する 壁・床の構造等		●ALCパネル ・厚さ 100mm以上 ●鉄筋コンクリート造 ・厚さ 100mm以上	
金 属 管		①銅管	
		外径：φ66.68mm以下 厚さ：2.0mm以下	
		②銅管及びステンレス鋼管	
		外径：φ165.2mm以下 厚さ：7.1mm以下	
被 覆 材	ニトリルゴム系フォーム (NBR系フォーム) (アーマフレックス) (Kフレックス)	①銅管に使用する場合	外径：φ217mm以下 厚さ：75mm以下
		②銅管及びステンレス鋼管に使用する場合	外径：φ328mm以下 厚さ：80mm以下
	エチレンプロピレンゴム系フォーム (EPDM系フォーム) (エアロフレックス) (HT/アーマフレックス)	①銅管に使用する場合	—
		②銅管及びステンレス鋼管に使用する場合	外径：φ318mm以下 厚さ75mm以下
	ロックウール グラスウール	①銅管に使用する場合	外径：φ227mm以下 厚さ：80mm以下
		②銅管及びステンレス鋼管に使用する場合	外径：φ328mm以下 厚さ：80mm以下

標準施工図（抜粋）

- コンクリート壁 100mm厚以上
ALCパネル壁 100mm厚以上
●PS060WL-0931



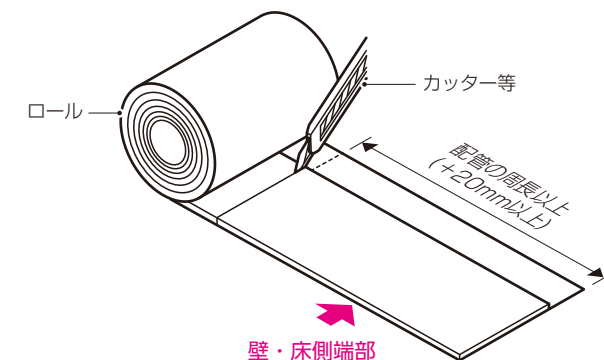
- コンクリート床 100mm厚以上
ALCパネル床 100mm厚以上
●PS060FL-0986



国土交通大臣認定書 の仕様に基づき、正しく施工してください。
(注)製品のご使用は、所轄行政機関にご確認ください。

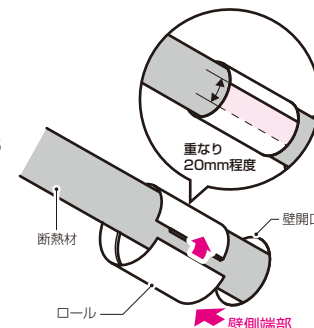
施工方法

- 準備 ●開口部の面積、管の種類、占積率が申請仕様に適合しているか確認する。
●開口に管を配管する。
- ロールの切断
配管の周長(+20mm)以上の長さで、ロールをカッターやハサミ等で切断します。

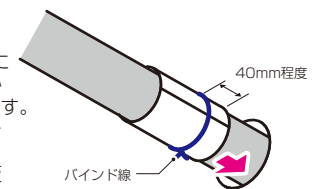


壁の施工方法

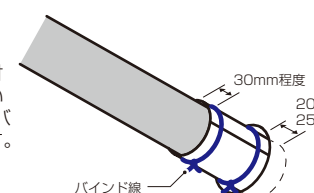
- ①ロールの巻きつけ
ロールを配管に1周以上(+20mm程度)パテを内側にして巻きつけます。
※ロールの巻きつけ方向には「向き」があります。矢印側(壁側端部)を壁側にして巻きつけてください。



- ②ロールの仮固定と挿入(スライド)
ロールの壁側端部から40mm程度の位置にバインド線で仮固定し、壁開口内に端部から20～25mm奥にスライドして挿入します。
※仮固定を締め付けすぎるとスライドできなくなるのでご注意ください。
※ロールの重なり箇所をアルミテープで仮固定することも可能です。



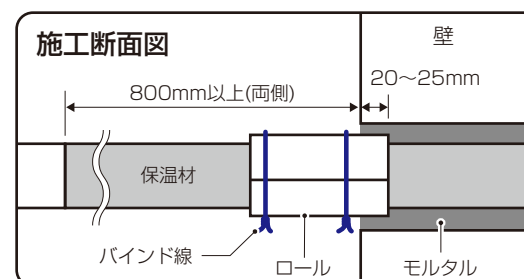
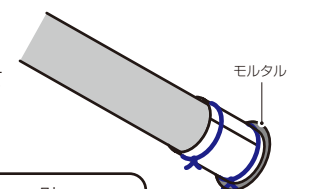
- ③ロールの固定
仮固定していたバインド線をさらに締め付け固定します。バインド線を巻いていない方の端部から30mm程度の位置に新たにバインド線を巻きつけ、締め付け固定します。



⚠注意

- 配管の保温材を潰すまで締め付けしないでください。
※保温性能が低下し、結露等が発生する恐れがあります。

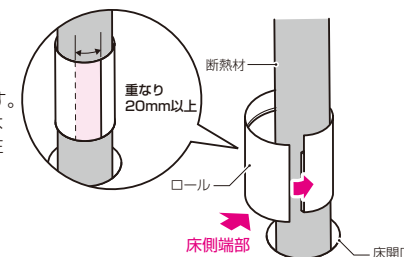
- ④すき間の充填
配管と開口のすき間をモルタルで充填してください。



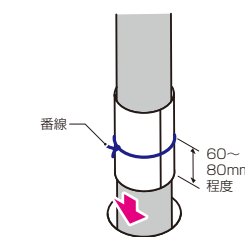
○壁の反対側の開口も同様に施工してください。

床の施工方法

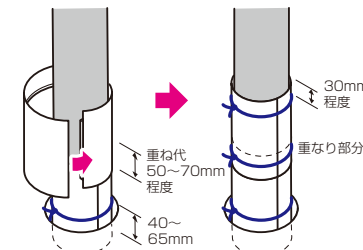
- ①ロールの巻きつけ
1枚目のロールを配管に1周(+20mm以上)巻きつけます。
※ロールの巻きつけ方向には「向き」があります。ご注意ください。



- ②ロールの仮固定と挿入(スライド)
ロールの床側端部から60～80mm程度の位置に番線で仮固定し、開口内に端部から40～65mm奥にスライドして挿入します。
スライド後、仮固定していた番線をさらに締め付け固定します。
※仮固定を締め付けすぎるとスライドできなくなるのでご注意ください。
※ロールの重なり箇所をアルミテープで仮固定することも可能です。



- ③ロールの重ね巻きと固定
1枚目のロールに2枚目のロールを50～70mm程度重ねて巻きつけ、重なった部分を番線で固定します。
さらに番線を巻いていない方の端部から30mm程度の位置に新たに番線を巻きつけ、締め付け固定します。



⚠注意

- 配管の保温材を潰すまで締め付けしないでください。
※保温性能が低下し、結露等が発生する恐れがあります。

- ④すき間の充填
配管と開口のすき間をモルタルで充填してください。

